平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月26日

上場会社名　株式会社 田谷　　上場取引所　東
コード番号　4679　URL　http://www.taya.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 田谷　和正
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員経営企画推進室長　(氏名) 田代　久士　TEL 03-5772-8411

四半期報告書提出予定日　平成24年8月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,995	△3.6	△43	―	△49	―	△50	―
24年3月期第1四半期	3,108	△0.8	105	―	101	―	42	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△10.17	―
24年3月期第1四半期	8.48	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	8,542	4,257	49.8	851.98
24年3月期	8,992	4,418	49.1	884.15

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　4,257百万円　24年3月期　4,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	22.00	22.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		0.00	―	22.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,250	0.4	240	4.6	235	2.1	110	22.2	22.01
通期	12,750	1.8	540	6.8	535	6.5	250	54.7	50.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	5,100,000 株	24年3月期	5,100,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	102,895 株	24年3月期	102,895 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	4,997,105 株	24年3月期1Q	5,057,140 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 2「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書
第１四半期累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として、景気は緩やかな回復の兆しが見られるものの、欧州政府債務危機による海外景気の下振れ懸念や円高・株安の進行、また電力供給の制約等、依然として先行き不透明な状況が続きました。

美容業界におきましては、雇用・所得環境の不安や、社会保険料率の引き上げや消費増税の動向に対する懸念等により消費者の節約志向は依然根強く、経営環境は極めて厳しい状況となっております。

このような状況の下、当社といたしましては『笑顔力』をスローガンに、美容師の技術と笑顔で、多くの方々が“笑顔”になっていただけるように顧客サービス等の一層の充実を図り、地域において顧客満足ナンバーワンのサロンを目指し、既存店の強化を行ってまいりました。

美容施術では、ヘアカラーの夏の新色「ラッキーカラー（８色）」を導入、また化粧品分類の溶剤を使用した「コスメカール」など施術のラインナップを充実させ、お客様一人ひとりの髪の悩みを解決し理想のヘアスタイルを実現するオリジナルテクニック「テクスチャーチェンジ（質感変化）」を施し、お客様に喜んでいただけるよう努めてまいりましたが、消費者動向は極めて慎重であり入客数は低迷に推移いたしました。

店舗につきましては、「TAYA&CO.GINZA銀座本店」を、銀座晴海通り沿いに移転いたしました。

以上の結果、当社の当第１四半期累計期間の業績は、売上高2,995百万円（前年同期比3.6％減）となり、営業損失43百万円（前年同期は営業利益105百万円）、経常損失49百万円（前年同期は経常利益101百万円）となり、四半期純損失は50百万円（前年同期は四半期純利益42百万円）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第１四半期会計期間末の総資産は8,542百万円となり、前事業年度末と比べて449百万円減少いたしました。

流動資産の残高は2,645百万円となり、前事業年度末と比べて416百万円減少いたしました。固定資産の残高は5,897百万円となり、前事業年度末と比べて32百万円減少いたしました。主な減少は、現金及び預金の減少377百万円、店舗の移転及び減価償却による建物の減少67百万円、敷金及び保証金の減少57百万円であります。

当第１四半期会計期間末の負債総額は4,285百万円となり、前事業年度末と比べて288百万円減少いたしました。

流動負債の残高は2,566百万円となり、前事業年度末と比べて166百万円減少いたしました。固定負債の残高は1,718百万円となり、前事業年度末と比べて122百万円減少いたしました。主な増加は、長短借入金の純増129百万円、主な減少は、未払法人税等の減少195百万円、賞与引当金の減少118百万円であります。

当第１四半期会計期間末の純資産は4,257百万円となり、前事業年度末と比べて160百万円減少いたしました。以上の結果、自己資本比率は前事業年度末49.1％から49.8％に増加いたしました。

（３）業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。なお、平成25年３月期の第２四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成24年５月７日公表の平成24年３月期決算短信の予想数値から変更はございません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はございません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

当第１四半期会計期間において新たに取得した有形固定資産はない為、損益に与える影響はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はございません。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,129,313	1,751,383
売掛金	555,885	497,325
商品	48,011	42,394
美容材料	34,208	36,200
その他	295,577	319,139
貸倒引当金	△1,008	△1,008
流動資産合計	3,061,987	2,645,434
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,786,188	1,718,578
土地	1,375,445	1,375,445
その他（純額）	69,964	63,496
有形固定資産合計	3,231,599	3,157,520
無形固定資産	63,871	61,946
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,141,330	2,083,904
その他	508,749	609,351
貸倒引当金	△15,188	△15,188
投資その他の資産合計	2,634,891	2,678,067
固定資産合計	5,930,362	5,897,534
資産合計	8,992,349	8,542,969

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年３月31日)	当第１四半期会計期間 (平成24年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	406,671	415,233
短期借入金	149,668	397,334
1年内返済予定の長期借入金	502,866	487,329
1年内償還予定の社債	128,000	95,000
未払法人税等	228,986	33,562
賞与引当金	217,109	98,739
資産除去債務	10,281	―
その他	1,089,534	1,039,721
流動負債合計	2,733,117	2,566,919
固定負債		
社債	150,000	150,000
長期借入金	1,069,121	966,017
退職給付引当金	372,517	368,652
資産除去債務	172,809	173,115
その他	76,578	60,832
固定負債合計	1,841,026	1,718,617
負債合計	4,574,143	4,285,536
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,480,180	1,480,180
資本剰余金	1,702,245	1,702,245
利益剰余金	1,395,236	1,234,462
自己株式	△159,455	△159,455
株主資本合計	4,418,206	4,257,432
純資産合計	4,418,206	4,257,432
負債純資産合計	8,992,349	8,542,969

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	3,108,854	2,995,908
売上原価	2,625,168	2,658,365
売上総利益	483,686	337,543
販売費及び一般管理費	378,603	381,135
営業利益又は営業損失（△）	105,082	△43,592
営業外収益		
受取利息	360	269
不動産賃貸料	2,568	2,972
その他	5,465	2,099
営業外収益合計	8,394	5,341
営業外費用		
支払利息	7,526	7,432
不動産賃貸費用	2,296	2,441
その他	1,933	1,163
営業外費用合計	11,756	11,037
経常利益又は経常損失（△）	101,720	△49,289
特別損失		
固定資産除却損	－	4,096
特別損失合計	－	4,096
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	101,720	△53,386
法人税、住民税及び事業税	15,003	14,846
法人税等調整額	43,810	△17,395
法人税等合計	58,814	△2,548
四半期純利益又は四半期純損失（△）	42,905	△50,837

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はございません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。